

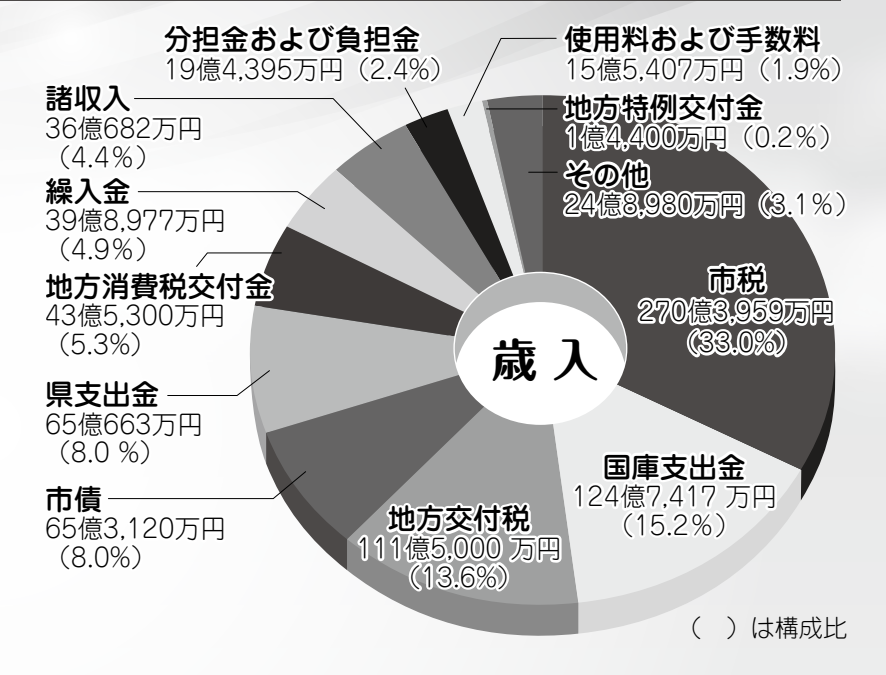
勇進する予算

7,245万円、9.5%増加しました。
額は、693億775万円、前年度予算に比べ、



令和7年度予算

817 億 8,300 万円



会計別予算内訳

区 分	令和7年度予算額	前年度からの増減額	伸び率
■一般会計	817億8,300万円	70億7,245万円	9.5%
■特別会計	693億775万円	19億3,325万円	2.9%
国民健康保険事業	142億7,467万円	▲1億8,819万円	▲1.3%
荻布奨学金事業	147万円	▲9万円	▲6.1%
駐車場事業	2億2,472万円	1,173万円	5.5%
介護保険事業	199億8,116万円	1億4,608万円	0.7%
後期高齢者医療事業	31億5,688万円	1億3,517万円	4.5%
高岡市民病院事業	123億2,327万円	5億5,486万円	4.7%
水道事業	57億1,391万円	▲2億2,857万円	▲3.8%
工業用水道事業	4,574万円	▲3,144万円	▲40.7%
下水道事業	135億8,593万円	15億3,370万円	12.7%

※原数値を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。

予算の位置づけ

- ・令和7年度当初予算は、「強い高岡」の実現に向け、震災からの復旧・復興を着実に進めるとともに、市民の挑戦を支え、循環を拡大することで「高岡を前へ進める」ほか、こどもたちが夢を叶えることのできる未来を見据え、全ての施策で「こどもを」まんなか」に据えて、市民と共に新たな一歩を踏み出す「未来を拓くために勇進する予算」として編成しました。
- ・まちの復興のためには、未来に向けた希望を創出する新たな"当たり前"を「つくり」、「まもり」、「かえていく」という視点が重要となります。
- ・今後、「強い高岡」の実現に向け、震災からの復旧・復興を着実に進めるとともに、『持続可能な未来都市 高岡』を目指し、市民の皆様さらに一歩前へと踏み出していただける施策を展開、共に「高岡を前へ進める」挑戦の循環を大きな「環」とし、新しい時代の"当たり前"を創りあげていきます。

予算用語の説明

- ▶ **一般会計**
市税などを主な財源として、市の基本的な経費を経理する会計です。
- ▶ **特別会計**
国民健康保険事業など特定の事業を一般会計と切り離し、保険料などの独自の財源をもって独立して経理する会計です。
- ▶ **市債**
市の長期借入金のことで、道路や学校などを整備するために借り入れるものです。
- ▶ **扶助費**
こどもから高齢者まで幅広い市民を対象に、国の法令や市の条例などに基づき、社会生活を援助するために支出するお金です。
- ▶ **公債費**
市債の元利償還金と一時借入金利子として支出するお金です。
- ▶ **投資的経費**
道路や学校の整備などに支出するお金です。

予算の特徴

次の3つのテーマで、「勇進」する施策を積極的に展開していきます。

「強い高岡」の構築に

勇進する施策

令和6年能登半島地震からの復旧・復興を進めるため、社会インフラの強化などのハードと地域防災力の強化や防災意識の醸成といったソフトの両面から「強い高岡」を構築するための取り組みを推進します。

「高岡を前へ進める」ために

勇進する施策

市民や地域、企業が主体的に課題解決に果敢に立ち向かう挑戦を応援するとともに、脱炭素先行地域としてのカーボンニュートラルの推進やDX・GX・資源循環などの取り組みにより、持続可能な社会の構築や産業活動の活性化を推進します。

「こども"を"まんなか」に据えた

社会の実現に向け勇進する施策

20年後、30年後の未来を見据え、より良い地域社会を継承し、今のこどもたちが次代で活躍できるよう、こども"を"まんなかに据えた未来への投資につながる取り組みを推進します。



家持くん

利長くん

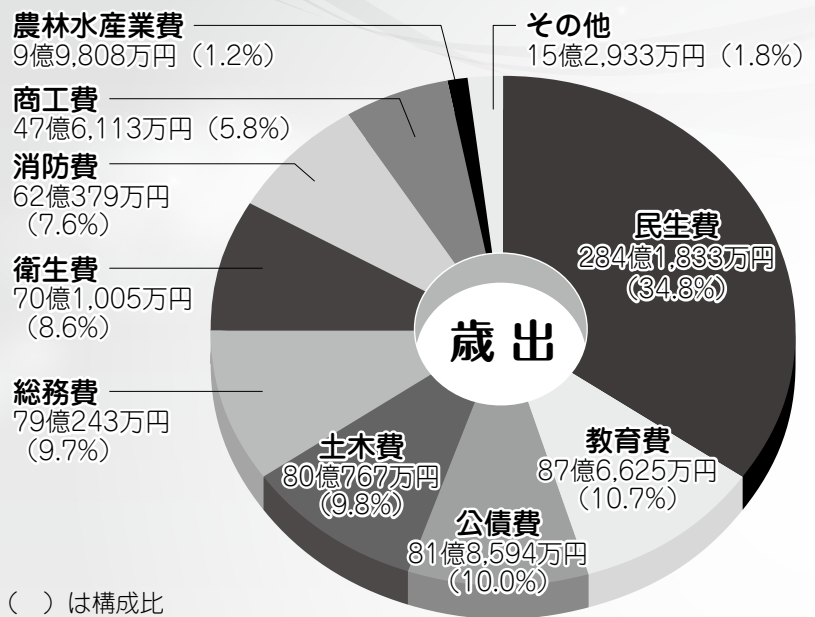
令和7年度予算

未来を拓くために

一般会計は817億8,300万円で、前年度予算に比べ70億特別会計は、国民健康保険事業会計など9会計で予算総19億3,325万円、2.9%増加しました。

問合先 財政課 ☎20-1246 ☎20-1299

一般会計



歳出の性質別内訳（一般会計）

区 分	令和7年度予算額	前年度からの増減額	伸び率
■義務的経費 計	363億3,939万円	20億5,154万円	6.0%
うち、人件費	113億5,620万円	6億411万円	5.6%
扶助費	167億9,725万円	18億2,088万円	12.2%
公債費	81億8,594万円	▲3億7,345万円	▲4.4%
■投資的経費 計	118億7,735万円	20億1,390万円	20.4%
■その他経費 計	335億6,626万円	30億701万円	9.8%
うち、物件費	117億2,958万円	4億7,314万円	4.2%
補助費等	107億9,904万円	11億6,722万円	12.1%
貸付金	36億7,394万円	9億8,716万円	36.7%
繰出金	45億6,530万円	▲2,415万円	▲0.5%
歳出合計	817億8,300万円	70億7,245万円	9.5%

※「その他経費」の内訳は主なものを記載しています。

こんな事業に取り組みます

『持続可能な未来都市 高岡』の実現に向けて、こどもをまんやかに据えた事業やカーボンニュートラルの実現に向けた事業などを「高岡を前へ進める施策」として取り組むとともに、一日も早い復旧・復興を推し進めるため「強い高岡」の構築に向けた施策に取り組みます。

市民の防災・減災意識の醸成

▶復興まちづくり構想策定事業【1,100万円】

液状化の被害が大きかった地域において、住民が様々な課題と向き合い、まちの復興を目指す主体的な取り組みを支援する。

▶被災地区復興支援賑わい創出事業【100万円】

商店街組織などが主体となって、被害が大きかった地区などで実施する賑わい創出のためのイベント事業などに対して支援する。

▶デジタル防災ガイド作成事業【150万円】

市民向けとこども向けのデジタル防災ガイドを作成、市ホームページで公開し、日頃から防災を学ぶ機会をつくることにより防災意識の醸成を図る。

▶個別避難計画作成支援事業【110万円】

要支援者の個別避難計画の作成促進に向け、具体的に共に考える場「地域ミーティング」を開催するとともに、福祉事業所と連携して計画作成に取り組む。



「高岡を前へ進める」ために勇進する施策

市民・地域の新たな挑戦のための後押し

▶空家等対策事業【5,618万円】

空家の有効活用に向けた改修費用や老朽化した危険な空家等の解体費用などを支援する。

▶若い世代と共に進める地域活動活性化支援事業【2,379万円】

地域活動への若い世代の参画を促進し、持続可能な住民自治に繋げることを目的とした意欲ある取り組みを支援する。

▶多機能地域自治組織の導入及び活動支援事業【993万円】

多機能地域自治組織の全地区への普及・推進を支援するほか、設立後の取り組みを支援するため、新たな交付金制度を創設する。

▶障がい者移動支援事業【222万円】

障がい福祉団体への移動支援について、福祉バスの運行事業から、より柔軟で利便性の高い貸切バスの借上料補助事業に切り替えるとともに、外出支援策として、障害者手帳情報をデジタル化するミライロIDを導入する。

「強い高岡」の構築に勇進する施策

復旧に向けた取り組み

▶能登半島地震 災害復旧事業【9億1,000万円】

令和6年能登半島地震からの復興のため、道路・河川、農地などの復旧工事を行う。

▶能登半島地震 被災者支援事業【6億2,002万円】

令和6年能登半島地震で被害を受けた市民や事業者に対し、引き続き、復旧・改修等にかかる費用や復興・賑わいづくりに資する取り組みについて支援する。



▶液状化対策事業

【2億3,150万円】

令和6年能登半島地震で液状化被害が大きかった地区を対象に、大規模地震発生時の再液状化被害を軽減するための対策を検討する。

▶文化財災害復旧事業【5,221万円】

令和6年能登半島地震で被害を受けた国宝や重要伝統的建造物群保存地区内の建造物について、修繕を支援する。



災害に備えた社会インフラ等の強靱化

▶避難所生活環境改善事業【1億円】

（令和6年度補正予算）

国の交付金を活用して、避難所の生活環境を改善するための資機材を購入し、平時から防災訓練へも貸し出すなど、市民の防災意識醸成や地域防災力向上を図る。

▶用排水路整備事業【6,200万円】

大雨や洪水による浸水被害を最小限にとどめられるよう、用排水路の整備・浸水対策を進める。



まなびの充実

▶夏休みカルチャーアカデミー【100万円】

博物館などの文化施設において、こども向けの文化体験プログラムを作成し、夏休み期間中に放課後児童クラブがプログラムを利用する場合の費用を支援する。



▶公共交通でこどもとおでかけ事業【100万円】

幼少期から公共交通の大切さや魅力に触れる機会を提供することで、こどもたちが生活のシーンに応じて公共交通を利用できるように、交通事業者と連携し、路線バスの整備工場見学ツアーや乗り方教室などを実施する。



▶こども起業家教育事業【30万円】

小学生に「起業」とは何か知ってもらうとともに、保護者にも「就職」だけでなく「起業」という選択肢があることの意識醸成につなげるため、起業家による講演や起業を疑似体験できるカードゲームなどのセミナーを実施する。

こどもの成長を支える環境づくり

▶学校再編関連事業【26億3,822万円】

高陵中学校区・高岡西部中学校区・伏木中学校区において小中一貫校の開設に向けて取り組む。また、五位小学校にプールを整備する。



▶アーバンスポーツライアルプロジェクト【3,000万円】

オリンピックで正式種目に採用されるなど、人気が高まっているアーバンスポーツについて、市民ニーズを把握しながら、施設整備を検討していく。



▶こども見守り保育環境改善事業【1,485万円】

公立保育園、認定こども園に防犯カメラやオートロックシステムを設置するほか、一時預かり事業やこども誰でも通園制度を実施している園などにキャッシュレス決済を導入する。

▶学生フィールドワーク等応援プロジェクト【200万円】

市内でフィールドワークやゼミ活動に取り組む県内外の大学生などの宿泊費や交通費を支援する。

カーボンニュートラル・DX・GXの推進

▶脱炭素先行地域推進事業【2億1,130万円】

市内事業者などで構成する「高岡市カーボンニュートラル推進協議会」と連携し、先行地域内への再エネ導入や省エネ化、啓発活動に取り組む。

▶EV充電スタンド普及事業【500万円】

EVなど次世代自動車の普及を促すことを目的に、公共施設内にEV充電器を設置する。

▶レンタルサイクル事業【400万円】

移動が快適な電動レンタルサイクルを市営御旅屋駐車場に導入することで、駐車場を起点とした周辺観光地や商店街への更なる回遊性の向上を図る。



企業等による産業活動の活性化

▶伝統産業コーディネーター導入事業【439万円】

事業者間の連携を促し、新商品を開発できる体制の構築などを担う伝統産業コーディネーターとして、地域おこし協力隊員を採用する。

▶「高岡雅美プレミアム」プロモーション事業【250万円】

「高岡雅美プレミアム」の販売促進及び台湾をはじめとしたインバウンドなどの誘客に向けた情報発信を行う。

▶たかおか農業プラットフォーム構築事業【210万円】

高岡産の農産物への認知と消費拡大による市内農業者の所得向上を目指し、農業センターを拠点として、市内農業者のデータベース化や、生産活動の広報・PRなどの伴走支援に取り組む。

「こども“を”まんなか」に据えた社会の実現に向け勇進する施策

子育てに関する支援

▶第2子保育料・副食費軽減事業【7,786万円】

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、令和7年4月から対象となる世帯の所得制限を撤廃する。

▶1か月児健康診査事業【527万円】

任意で行われている1か月児健康診査について、市が健診費用を負担して医療機関で実施する。

▶民間放課後児童クラブ利用者支援事業【300万円】

放課後における児童の居場所を確保するため、公設民営の放課後児童クラブに入所できなかった児童（小学校1年生～3年生）が民間放課後児童クラブを利用する際の利用料の一部を支援する。



上下水道事業

▶水道・下水道耐震・浸水対策事業【14億9,392万円】

耐震化事業…水道基幹管路の耐震化、下水道管路の耐震化、基幹施設耐震化
耐水化・浸水対策事業…下水道施設の耐水化、浸水対策（雨水幹線整備）、調整池検討

▶下水道災害復旧事業【11億7,641万円】

令和6年能登半島地震で被災した下水道施設において、一日も早い地域住民の生活再建に向け、災害復旧工事を行います。

▶水道・下水道DX事業【2億7,184万円】

スマートメーターの導入エリアを拡大するとともに、水位センサーの活用や漏水監視システムの追加導入などの新しい技術を積極的に活用することで上下水道事業の効率化やサービス向上を図ります。

▶水道・下水道GX事業【4,670万円】

EV車両の導入や下水処理場等における省エネ機器の導入検討など、電気使用量やCO2の削減を図る事業に取り組むことで、脱炭素を目指し、環境負荷を軽減させるとともに、より効率的な事業運営を進めていきます。



高岡市の行財政改革について

予測困難な社会情勢や市の課題にも的確に対応し、『持続可能な未来都市 高岡』の実現を目指しながら、必要な事業を着実に実施するため、徹底的に知恵を絞り、行財政改革の取り組みに勇進していきます。

◇計画的な基金の活用

▶公共施設等整備改修基金11.0億円（公共施設などの計画的な整備改修のための基金）、令和6年能登半島地震復旧・復興推進基金4.9億円（災害からの早期の復旧・復興のための基金）を取り崩し、財源を確保します。

◇市債の適正管理

▶令和7年度の市債発行予定額は、65億3,120万円で、前年度に比べ、9億1,600万円増加しました。

▶令和7年度末の市債残高（見込）は、838億5,289万円となり、令和6年度末の市債残高（見込）に比べ、12億2,686万円減少となります。

▶令和6年能登半島地震からの復旧・復興事業を最優先としながらも、市民生活に不可欠な事業を着実に実施してための財源として、事業債の発行額を拡大して対応していきます。

▶一方で「繰上償還」（※）を効果的なタイミングで実施し、市債残高の減少に取り組めます。

※繰上償還…借り入れた市債を、返済期限より前倒しで返済し、将来の公債費負担の軽減を図ること

◇市民の挑戦を支える施策立案

▶あらゆる事業に対し、その意義や目的、効果を点検し、時代に応じた事業への転換を図るなど、事業効果の拡大・促進に取り組めます。（事業見直し効果額 約7.0億円）

令和7年度 上下水道事業予算

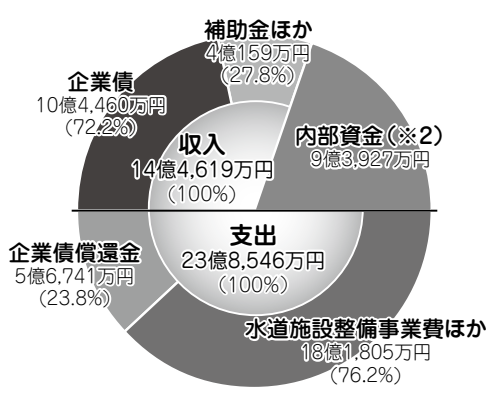
「高岡市上下水道ビジョン」に掲げる3つの基本方針「安全」「強靱」「持続」に基づき、上下水道の施設や管路の改築・更新・耐震化を行います。

引き続き、令和6年能登半島地震により被災した下水道等の速やかな復旧に努めるとともに、能登半島地震の教訓をふまえ、重要施設に接続する水道管路の耐震化や下水道の耐震対策工法の検討を行うなど、災害に強い強靱な上下水道の構築に努めます。（※1）

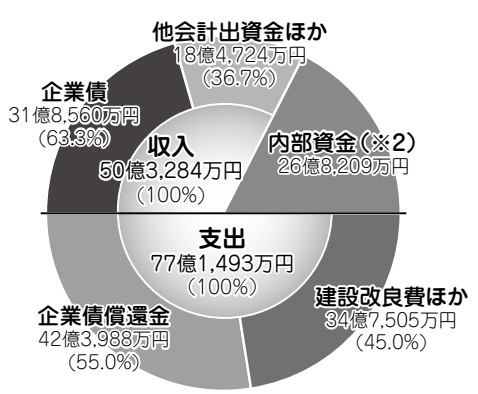
問合先 上下水道局総務課 TEL 20-1622 FAX 20-1624



資本的収支（施設の建設改良の収支）

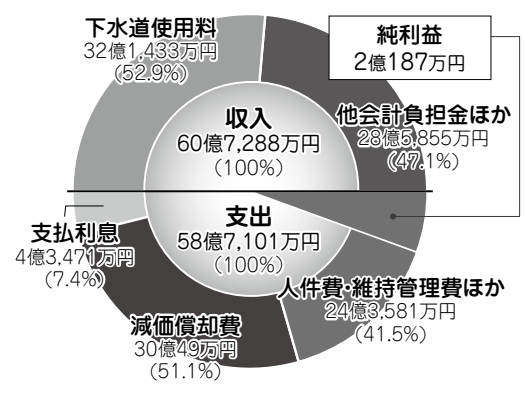
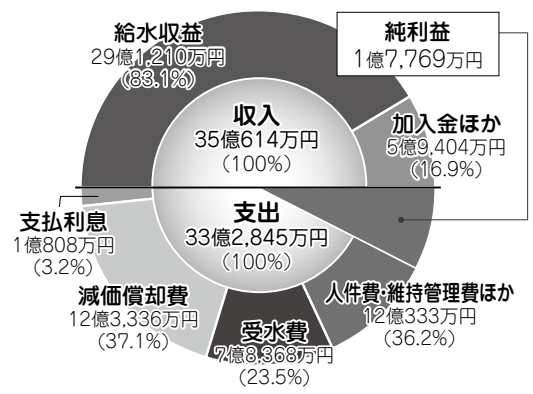


水道事業

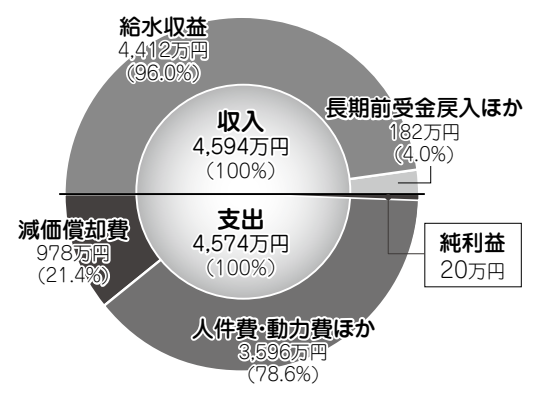


下水道事業

収益的収支（事業運営の収支）



工業用水道事業



令和7年度は
建設改良事業を
予定していません

※1 水道の耐震化については、上記の令和7年度予算に加え、令和6年度に補正した6億8,700万円の予算と合わせ計画的に推進します。
※2 内部資金…収益的収支から内部留保資金（現金の支出を必要としない減価償却費など）を充てたもの。

若者の 「挑戦」を「形」に



市では、「自分のまちをより良くしたい!」「自分たちの取り組みをまちづくりに生かしたい!」そんな自らの夢の実現や課題の解決に向けた若者の挑戦を応援しています。

その小さな一歩が「高岡を前へ進める」ための大きな原動力になります!

今回は、富山大学芸術文化学部と連携し、学生が4チームに分かれて考えたデザインを、市公営バスの4台にラッピングしました。

こいバス～鯉といっしょに冒険の旅へ～

古くから続く福岡町の“鯉(養殖)”といっしょに冒険の旅へ出かけよう!がコンセプトです。「こいバス」が走りだすと、まるでたくさんの鯉が泳ぐ美しい小川が町に広がります。「こいバス」の魅力は、窓全面を泳ぐたくさんの鯉たちです。車内からは鯉といっしょに泳いでいるかのようなワクワクする感覚を味わえます。

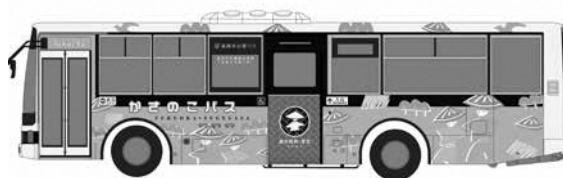
毎日の通学時間をこどもたちにとってワクワクな楽しい体験の場にしたいという想いから、この「こいバス」は生まれました。実際にバスに乗るこどもたちの笑顔を目にし、自分たちがデザインしたものが形となり誰かの喜びにつながっていることを実感して、とても嬉しく感じています。「こいバス」が町を走ることで、ワクワクなこどもたちの笑顔とともに地域全体に活気が広がり、福岡町の魅力を引き出すきっかけになれば嬉しいです。



かさのこバス～ふるさと福岡町の菅笠ものがたり～

「かさのこバス」のコンセプトは、ふるさと福岡町の菅笠ものがたりです。魅力ある福岡町の“菅笠”という伝統文化が、物語のように未来へ繋がってほしいという願いを込めてデザインしました。「この菅笠もよう、素敵!」と感じ、地域の伝統文化に親しみをもちてもらうために、菅笠を現代風にデザインしました。

福岡町で受け継がれてきた魅力ある伝統工芸“菅笠”。ですが、小学生のみなさんへのインタビューで菅笠の話題が出ず、若い人たちに親しまれていないという課題を感じました。そこで、菅笠という文化がもっと親しまれ、未来につながってほしいという思いで、このデザインを制作しました。このバスを通して、こどもたちや地域のみなさんに「菅笠って素敵だな～」「福岡町って良いところだな～」と思ってもらえたら嬉しいです。



わいがやバス～思い出届けるつくりもん～

「わいがやバス」のコンセプトは、みんなの交流を育む“つくりもんまつり”を広く伝えることです。つくりもんまつりで使われる野菜をモチーフとして、個性的なキャラクターをバス全体にデザインしました。窓にはつくりもんたちが顔をのぞかせていたり、乗降口の動きに合わせて見え隠れしたり、バスに乗る前も、乗った後もこどもたちにワクワクを届ける仕掛けを考えました。

バスのデザイン制作にあたり、私たちは、まず福岡町について深く知ることから始めました。福岡小学校の6年生にインタビューを行い、地域ならではの魅力や思い出をたくさん教えてもらいました。その中で、福岡町には他の地域にはない温もりや伝統が息づいていることを実感しました。その一つが“つくりもんまつり”です。このバスが、地域のみなさんに親しまれ、福岡町での素敵な思い出の一つとなれば嬉しいです。



SAKURA-BUS～こころに届ける桜のたより～

春になると咲き誇る“岸渡川の桜並木”を福岡町の景色の象徴だと捉えて、「心へ届ける福岡町の桜」をコンセプトにしました。暖かな思い出が、やさしく浮かび上がるイメージで抽象的に岸渡川と桜並木を表現することで、「あれは岸渡川の桜かな？」という会話が生まれてほしいと考えました。

春、これから桜が咲く季節に入ると、この岸渡川の桜バスが福岡町を走り始めます。地域のみなさんや桜を見に訪れる人々がこのバスに乗って、暖かくて楽しい思い出が生まれると素敵！と思い、デザインを制作しました。このバスが地域のみなさんの思い出や笑顔に乗せて、まちを彩りながら走り続けることを願っています。そして、岸渡川の桜バスを通じて福岡町のことを、もっともっと大好きになっていただけたら嬉しいです。



3月5日(水)公営バス4台のお披露目式が行われました。式には、市長やデザインを考えた富山大学芸術文化学部の学生たち、福岡小学校の6年生の児童などが参加しました。式の後には児童が笑顔で新しいバスに乗りこみました。



問合先 総合交通課 TEL 20-1139 FAX 20-1414

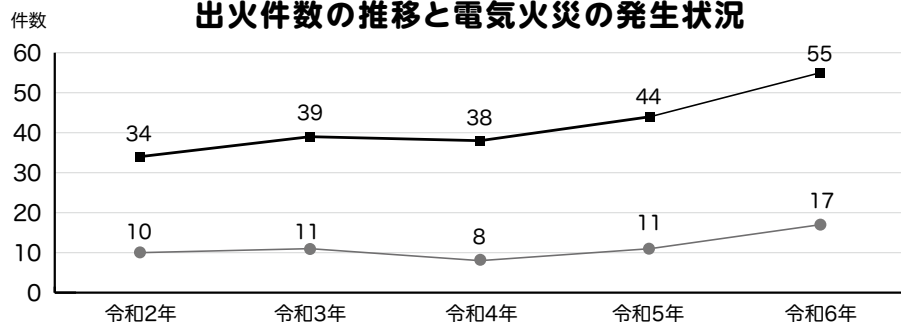
身近にひそむ電気火災にご注意を



・昨年、高岡市消防本部管内（高岡市・氷見市）では、55件の火災が発生しました。

出火原因別では、モバイルバッテリーなどの電気機器や電化製品のコード類などの電気器具類が原因である「電気火災」が最も多く発生しており、近年は増加の傾向にあります。そこで、電気器具類を発火源とする火災の中でも近年、増加傾向である、充電式電池と電化製品のコード類の火災予防対策について紹介します。

出火件数の推移と電気火災の発生状況



■ 高岡市消防本部の出火件数
● 電気器具類からの出火件数



◇充電式電池

近年、火災原因として全国的に増加が著しいのが、モバイルバッテリーのように繰り返し使える充電式電池です。充電式電池からの火災は以下のような原因があります。



◀落下による発火

水に落としたことによる発火▶



予防対策

充電式電池は、説明書に記載されている使用方法を守るとともに、電池をぶつけたり、漏らすなどしてしまった時は、電池に異常がないかどうか確認し、電池が膨らむなど少しでも異常があれば、使用をやめましょう。

充電式電池は近年使用が増え、それに伴い、火災件数も増えています。原因は様々で、使用方法の不備や改造、製品の不良などがあります。PSEマークが表示されているかなどを確認し、一定の安全が確保されているものを使用し、火災を起こさないようにしましょう。

◇コード類

多くの電化製品に共通する、コード類でも多くの火災が発生しています。コード類からの火災は以下のような原因があります。



◀踏みつけによる発火

束ねていたことによる発火▶



予防対策

日頃から配線の状態などを確認しましょう。コード類は、家具などの物陰にあることが多く、日頃から気にすることは少ないと思います。点検を行い、異常を見つけ、火災を防ぎましょう。

私たちの生活には欠かせない電気器具類ですが、常に火災のリスクが潜んでいることを忘れずに、適切な使用・維持管理に努めていきましょう。

問合先 消防本部予防課 ☎22-3132 ☎22-1994

高岡市の「今」を SNSでお届け！

問合せ 広報発信課 ☎20-1232 📠20-1664

市では、各種SNSを活用し、市政情報や市の魅力、イベント情報などを発信しています。
SNSをフォロー・登録することで欲しい情報を受け取ることができます。

高岡弁のLINEスタンプをプレゼント

文化創造都市高岡のキャラクターによる高岡弁のスタンプを作成しました。
今なら友だち登録している人限定で先着5万人に高岡弁の市公式スタンプ
8種類を無料でプレゼントします。



このほか「たのんちゃ」
や「きのどくな」など
6種類があります。

ぜひこの機会に
友だち登録を!!



市公式TikTokで市の魅力を発信

TikTokで市の魅力やイベントなどチェック
しよう。市のヒト・モノ・コトの魅力をショ
ート動画で発信することにより、高岡ファン
を増やすとともに、市民のみなさんの挑戦を
後押ししていきます。



そのほかのSNSでも市政情報や市の魅力、イベント情報などを発信しています。
この機会にそれぞれの二次元コードからフォロー・登録してみませんか？





©Fujiko-Pro



市HP

このページで紹介できなかった出来事も市ホームページで随時掲載しています。



つなぐ想い つながる絆 2月17日～3月14日

能登半島地震の被災者を応援し励ますため、東日本大震災の伝承活動を行う宮城県内の市民団体が作成した「北陸復興応援幕」が伏木コミュニティセンターに展示されました。応援幕には「離れていても、気持ちはひとつ」「笑顔がひとつでも多い日が来ますように」など、宮城県の150人以上の人達からの心温まる応援メッセージが書かれており、見る人を勇気づけました。

ぴかぴかのラッピング電車 3月10日

高岡駅万葉線乗り場で日本ゼオン高岡工場の操業70周年を記念したラッピング電車「ZEON TRAM」のお披露目式が行われました。イベントでは車内外の見学やこども向け運転士制服着用体験などが行われ、多くの親子連れで賑わいました。着用体験で制服を着てみた5歳の尾山凛桜ちゃん（おやまりお）は「運転士になった気分がうれしかった」と笑顔で話しました。

故郷の人物を知ろう

たかおか 温故知新

高岡の政治経済を牽引した実業家・政治家／ 6代 木津太郎平(1875～1950)

6代太郎平は明治から戦前の実業家・政治家です。幼名は清太郎。木津家の先祖は、上川原町で木津屋と称し荒物屋、のち魚屋でした。4代太郎平（夫人は高峰譲吉伯母）は廻船問屋となり富を築きます。6代は、旧制富山中学を卒業し、1895年に志願し陸軍第7連隊に入隊。1902年、高岡米穀外四品取引所理事長就任。翌年父（5代）が没すると6代太郎平を襲名し、高岡電灯株式会社（現北陸電力㈱）取締役、高岡新報社（現北日本新聞社）の社長に就任。その後も1906年、北陸人造肥料会社取締役。翌年、高岡商業会議所（のち商工会議所）会頭（計5期10年在任）、及び高岡米穀取引所理事長に就任。の

ち1920年、北陸信託会社社長、1923年、高岡信用組合理事・高岡銀行頭取に就任するなど高岡の経済界を牽引しました。太郎平は政界でも活躍し、1912年から2期、衆議院議員を務めました。

昭和に入り、高岡市会は長く泥沼の権力闘争を行って収拾せず、1938年ついに内務省の命令で解散させられました。太郎平は長く混乱した市政をまとめる唯一の人物として推され、第13代市長に就任しました（～1945年）。伏木町ほか1町5村を合併、交通路整備、伏木港拡築や戦時中の疎開など困難な時期の市政を指導しました。戦後の1948年、北陸軽金属㈱取締役となりましたが、1950年脳溢血で死去しました。

（仁ヶ竹主幹）

問合先 博物館 図20-1572



6代木津太郎平

■右のアイコンがついているものは、無料アプリ・カタログ
ポケットで、動画やスライドショーを視聴できます。
※アプリは表紙の二次元コードからインストールできます。



高岡の文化を食で感じる

2月13日

日本遺産の日に合わせた「日本遺産給食」が各市立学校で実施されました。今年は「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡-人・技・心-」をテーマにした給食がふるまわれ、こども達は美味しく楽しく高岡の歴史を学びました。給食を味わった高陵小学校5年生の谷口智仁くんは「給食を通じて、高岡の歴史が学べて良かった。『鶏のから揚げ鳳鳴風』がとても美味しかった」と笑顔で話しました。

色とりどりの雛人形

2月23日～3月2日

福岡にぎわい交流館などで「第16回ふくおかひなまつり」が開催され、色とりどりの雛人形が飾られました。2日(日)には、ひなマルシェやもちつき大会が開かれ、多くの来場者で賑わいました。お父さんと一緒に訪れた3歳の男の子は「雛人形はきれいですごかった」と笑顔で話しました。



さあ、新高岡駅から。VOL.121

新幹線で通学してみませんか

新幹線で通学する人を対象に定期券購入費用の一部を補助します。
新幹線で快適に通学してみたいはいかがでしょうか。

◇通学定期

【対象】市内に在住し、次の条件をすべて満たす人

- ①新高岡駅発着で、新幹線通学定期券で通学する人（休学中の人は除く）
- ②世帯全員が本市の市税および国民健康保険税を滞納していない人

【補助金額】

- 1ヶ月定期…1万円
- 3ヶ月定期…3万円



【申込方法】

電子申請または直接、申請書と必要書類を総合交通課へ。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

問合先

総合交通課 TEL 30-6505



市HP

3月31日(月)から 公共施設の予約方法が変わります

パソコンやスマートフォンで施設予約システムを利用し、いつでもどこでも公共施設の空き状況の確認や予約、抽選申し込みなどが可能になります。また、本市の施設だけではなく、共同でシステムを利用することになった富山県・富山市・朝日町の公共施設も同様に予約することができます。システム利用方法や対象施設については、市ホームページをご覧ください。

※対象施設（今後拡大予定。一部の施設については空き状況のみの公開となります）

- 東洋通信スポーツセンター ▪ 竹平記念体育館 ▪ 高岡スポーツコア ▪ 前田庭球場
- 城光寺陸上競技場・野球場 ▪ 西部総合公園野球場（ボールパーク高岡） ▪ 富山県高岡総合プール
- ふくおか総合文化センター（Uホール） ▪ 生涯学習センター ▪ 高岡文化ホール
- 各地域交流センター など



市HP

◇施設の予約は簡単3ステップ

STEP1 Webから利用者登録

STEP2 本人確認後ID・パスワード発行

STEP3 システムにログインして施設予約
(メールで予約完了通知が届きます)

あとは当日施設窓口に行くだけ！



公共施設を利用してスポーツや文化活動などを楽しみましょう。

問合せ先

予約確認や登録については各施設にお問い合わせください。
施設予約システムに関しては、下記までお問い合わせください。
生涯学習・スポーツ課 ☎20-1458、地域課 ☎20-1326